

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
				評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								3.3
Q1 室内環境					0.40			3.0
1 音環境				3.3	0.15	-	-	3.3
1.1 騒音		遮音等級T-2アルミサッシを使用		3.0	0.40	-	-	
1	暗騒音レベル			3.0	1.00	-	-	
2	設備騒音対策			-	-	-	-	
1.2 遮音				3.8	0.40	-	-	
1	開口部遮音性能			5.0	0.40	-	-	
2	界壁遮音性能			3.0	0.60	-	-	
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	-	-	
4	界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-	-	
1.3 吸音				3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境				2.2	0.35	-	-	2.2
2.1 室温制御		ブラインド内蔵ダブルスキンにより屋光制御		2.2	0.50	-	-	
1	室温設定			3.0	0.38	-	-	
2	負荷変動・追従制御性			-	-	-	-	
3	外皮性能			3.0	0.25	-	-	
4	ゾーン別制御性			1.0	0.38	-	-	
5	温度・湿度制御			-	-	-	-	
6	個別制御			-	-	-	-	
7	時間外空調に対する配慮			-	-	-	-	
8	監視システム			-	-	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				3.3	0.25	-	-	3.3
3.1 屋光利用		ブラインド内蔵ダブルスキンにより屋光制御		3.0	0.30	-	-	
1	屋光率			3.0	0.60	-	-	
2	方位別開口			-	-	-	-	
3	屋光利用設備			3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策				4.0	0.30	-	-	
1	照明器具のグレア			-	-	-	-	
2	屋光制御			4.0	1.00	-	-	
3.3 照度				3.0	0.15	-	-	
1	照度			3.0	1.00	-	-	
2	照度均斉度			-	-	-	-	
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境				3.9	0.25	-	-	3.9
4.1 発生源対策		法規制外材料は全面的にF☆☆☆☆を使用		4.0	0.50	-	-	
1	化学汚染物質			4.0	1.00	-	-	
2	アスベスト対策			-	-	-	-	
3	ダニ・カビ等			-	-	-	-	
4	レジオネラ対策			-	-	-	-	
4.2 換気				3.0	0.30	-	-	
1	換気量			3.0	0.50	-	-	
2	自然換気性能			-	-	-	-	
3	取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	-	-	
4	給気計画			-	-	-	-	
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-	
1	CO ₂ の監視			-	-	-	-	
2	喫煙の制御	全館禁煙	5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.4
1 機能性				3.8	0.40	2.5	1.00	3.8
1.1 機能性・使いやすさ		内装計画段階で照明計画と併せたデザイン検討を行っている		3.0	0.60	-	-	
1	広さ・収納性			-	-	-	-	
2	高度情報通信設備対応			-	-	-	-	
3	バリアフリー計画			3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				5.0	0.40	2.5	1.00	
1	広さ感・景観			-	-	-	0.50	
2	リフレッシュスペース			-	-	-	-	
3	内装計画			5.0	1.00	5.0	0.50	
1.3 維持管理				-	-	-	-	
1	維持管理に配慮した設計			-	-	-	-	
2	維持管理用機能の確保			-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.1	0.31	-	-	3.1
2.1 耐震・免震		合成樹脂吹付25年、アルミカーテンウォール・・・40年 床：タイルカーペット、壁：GB-R+クロス貼、天井：化粧せっこうボード		3.0	0.48	-	-	
1	耐震性			3.0	0.80	-	-	
2	免震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.33	-	-	
1	躯体材料の耐用年数			3.0	0.23	-	-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔			4.0	0.23	-	-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔			5.0	0.09	-	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08	-	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.15	-	-	
6	主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.23	-	-	
2.3 適切な更新				-	-	-	-	
2.4 信頼性				3.0	0.19	-	-	
1	空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-	
3	電気設備			3.0	0.20	-	-	

1 / 0

		4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
		5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
		3 対応性・更新性			3.4	0.29	-	-	3.4
		3.1 空間のゆとり			4.0	0.31	-	-	
		1	階高のゆとり	階高3.75m、3.85m	4.0	0.60	-	-	
		2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率・・・0.2887	4.0	0.40	-	-	
		3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	-	-	
		3.3 設備の更新性			3.3	0.38	-	-	
		1	空調配管の更新性	設備バルコニー（外部）に空調配管を通す計画としている	4.0	0.17	-	-	
		2	給排水管の更新性	設備バルコニー（外部）に給排水管を通す計画としている	4.0	0.17	-	-	
		3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
		4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
		5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
		6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
		Q3 室外環境（敷地内）			-	0.30	-	-	3.6
		1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
		2 まちなみ・景観への配慮		京都市景観条例に新景観政策に準拠した良好な景観を形成している	5.0	0.40	-	-	5.0
		3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
		3.1 地域性への配慮、快適性の向上		ビロティを設け都市空間の活動上のアメニティ向上に貢献している	4.0	0.50	-	-	
		3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
		LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.8
		LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
		1 建物の熱負荷抑制		PAL値（282.4）が基準値（340）の15%以上	4.0	0.30	-	-	4.0
		2 自然エネルギー利用			3.5	0.20	-	-	3.5
		2.1 自然エネルギーの直接利用		ダブルスキン内の換気を自然換気（重力換気）としている	4.0	0.50	-	-	
		2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
		3 設備システムの高効率化		CEC/AC値（0.8）が基準値（2.5）を大幅に下回っている ERR=49.2%	5.0	0.30	-	-	5.0
		4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
		4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
		4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
		LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.8
		1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
		1.1 節水		節水型衛生器具を採用している	4.0	0.40	-	-	
		1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-	
		1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
		2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
		2 非再生性資源の使用量削減			4.1	0.63	-	-	4.1
		2.1 材料使用量の削減			3.0	0.07	-	-	
		2.2 既存建築躯体等の継続使用		既存地下躯体を一部再利用している	4.0	0.24	-	-	
		2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		ー	3.0	0.20	-	-	
		2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		外構舗装に再利用砕石、屋上庭園に既存ピンコロ舗装を使用	5.0	0.20	-	-	
		2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05	-	-	
		2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		将来、躯体と仕上りが分別出来てリサイクルしやすい	5.0	0.24	-	-	
		3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
		3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
		3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-	
		1	消火剤	ハロン消火剤を一切使用していない	4.0	0.33	-	-	
		2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
		3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
		LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
		1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出量が一般値の52%	5.0	0.33	-	-	5.0
		2 地域環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
		2.1 大気汚染防止		小容量の都市ガス燃焼機器を採用している	4.0	0.25	-	-	
		2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
		2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
		1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
		2	汚水処理負荷抑制		-	-	-	-	
		3	交通負荷抑制		3.0	0.50	-	-	
		4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.50	-	-	
		3 周辺環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
		3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
		1	騒音		3.0	1.00	-	-	
		2	振動		-	-	-	-	
		3	悪臭		-	-	-	-	
		3.2 風害、日照障害の抑制			1.6	0.40	-	-	
		1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
		2	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
		3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
		1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
		2	屋光の建物外壁による反射光（グレア）への対策		3.0	0.30	-	-	